



JAPAN COAST GUARD **Mobile Cooperation Team**

マーシャル諸島共和国海上保安機関職員等に対する 能力向上支援(活動概要)

- 1 日程
令和7年5月27日（火）～6月9日（月）
- 2 場所
マーシャル諸島共和国・マジュロ
- 3 派遣職員
海上保安庁 MCT (Mobile Cooperation Team) 4名
- 4 参加国
マーシャル諸島共和国 海上保安機関（SEA PATROL）他関連機関

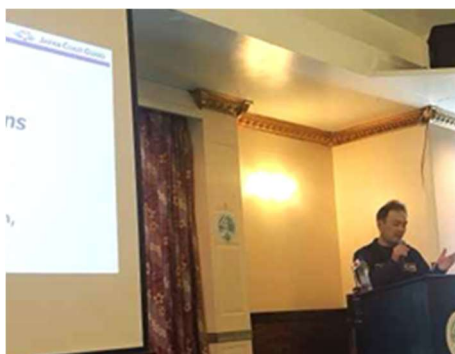
5 活動概要

海上保安庁 MCT は、公益財団法人日本財団及び公益財団法人笹川平和財団の枠組みを通じ、マーシャル諸島共和国海上保安機関職員等（以下「マーシャル SEA PATROL 職員等」という。）に対し、一昨年度から海上保安能力向上支援に取り組んでいます。

今回の派遣では、国際法のほか、結索や海難救助資器材を用いた海面漂流者救助、熱傷・骨折・出血にかかる応急処置、AED を用いた CPR、ロープ接合等についての研修・訓練を現地で実施しました。

また、遠洋航海で寄港した当庁練習船「いつくしま」の船上において、マーシャル諸島共和国政府関係者に加え、現地の米国大使館職員及び豪州政府関係者らも見学する中、訓練参加者である当庁練習船「いつくしま」実習生とマーシャル SEA PATROL 職員等が、合同で海難救助資器材を用いての傷病者搬送訓練を行いました。その後、訓練参加者は巡視船・施設等の相互見学を通じて交流を深めるとともに、国際感覚の涵養を図りました。このほか、当庁練習船「いつくしま」出港に合わせ、相互の船艇を運用しての無線通信・航行訓練も実施しました。

海上保安庁は、今後も法の支配に基づく「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」の実現に向け、各国の海上保安機関との連携・協力関係を強化していくとともに、インド太平洋地域の海上保安機関の能力向上支援に積極的に取り組んでまいります。



国際法研修



海面漂流者救助訓練



骨折にかかる応急処置訓練



傷病者搬送訓練



現地政府関係者、米国大使館職員、豪州政府関係者が傷病者搬送訓練を見学



練習船「いつくしま」船内見学



**相互船艇を運用しての
無線通信・航行訓練**



**いつくしまマーシャル出港！
メッセージ交換し、別れを告げる**